

普通騒音計NL-27 簡易操作手順書

リオン株式会社 2020年6月9日作成

【測定の準備その1】

- 電源投入 ①(POWER)を長押しで電源ON→測定画面(LAF)になる
 Batt表示 Batt表示が点滅した場合は電池を交換して下さい
 内部校正 ②(A/C/CAL)を2回押しで校正状態にしてから④△③▽で94.0 dBに調整する
 音響校正 NC-75で校正する場合は続けて②(A/C/CAL)を押して音響校正画面にする
 NC-75をマイクに装着してNC-75の電源を入れて30秒以上待ってから
 ④△③▽で93.9 dBに調整する
 戻る 測定画面(LAF)に戻る時は、②(A/C/CAL)を数回押す
 周波数重み特性 通常A特性(LAF)です [②(A/C/CAL)を押すとC特性(LCF)になる
 C特性にて②(A/C/CAL)を4回押すとA特性に戻る]



【測定の準備その2: 測定条件変更】

- レンジ 測定画面にて②(MENU)を長押しする→レベルレンジ(測定範囲)が点滅する
 [表示が60~130 dB(L Peak 測定用)の場合は、④△③▽を押して30~130 dBにする]
 ↓②(MENU)押し
 時間重み特性 ②(MENU)を押す→F、又はSが点滅する
 ↓②(MENU)押し
 [Sの場合は④△③▽を押してFにする(新幹線、航空機騒音は通常Sで測定)]
 測定時間 ②(MENU)を押す→10mが点滅する→④△③▽押しと10m(10分)⇔1h(1時間)⇔1m(1分)
 ⇔5m(5分)、と変わるので測定したい時間(等価騒音レベルの測定時間)にする
 ↓②(MENU)押し
 測定画面 ②(MENU)を押す→測定画面に戻る [レンジ設定に移る場合は②(MENU)を長押し]
 途中で戻る 測定条件変更途中で測定画面に戻る時は、②(MENU)を長押しする

【騒音レベル瞬時値の測定】

測定画面(LAF)にて測定値を読み取る

【等価騒音レベルの測定】

- 測定 ③(START/STOP)押しでSTART→測定中(▶が点滅する)→
 [途中終了は③(START/STOP)を押す]→測定時間後に終了→アドレス番号に自動保存
 測定データ確認 等価騒音レベル(LAeq)が表示される→④(△)を押す度に下記の通り表示が変わる
 →最大値(LAFmax)→音響暴露レベル(LAE)→測定画面→等価騒音レベル(LAeq)→
 戻る 測定状態に戻る時は、④(△)を数回押しで測定画面(LAF)にする

【保存データの呼出】

- 呼出 測定画面にて②(MENU)を4回押し画面右上にRecallを表示させる
 ④△③▽で表示したい記憶データのアドレス番号を呼び出す
 測定データ確認 該当アドレス番号にて④△③▽を押すと下記の通り表示が変わる
 最大値(LAFmax)⇔音響暴露レベル(LAE)⇔等価騒音レベル(LAeq)
 戻る 測定状態に戻る時は、②(MENU)を押す

【測定の終了】

①(POWER)を長押しで電源OFF→液晶の表示が全て消える

周波数重み特性

レベルレンジ(測定範囲)

Batt表示

レベル表示

④

②

③

①

